児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R5年 11月 1日

事業所名:リハ・リハキッズ PowersⅢ

区	分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	適切なスペースを確保しています		環境整備をしながらもスタッフ皆と協力して 広い空間でリハビリができるよう確保してい きます
	2	職員の適切な配置	規程の職員配置数、職種になっている	1対1で対応し、また理解してくださっているので安心して預けることができる。 送迎ができるように人員確保してほしい。	定員5名に対して4~5名の職員配置であり 全員の児童に関わるように心がけている
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、 情報伝達等に配慮した環境など障害の特性 に応じた設備整備	車いすや、バギーでの移動がしやすい様、玄関から屋 内にかけてバリアフリー、屋内も全体に目が届くように なっている。児童が自分で取り出せるように目に留まる 位置に絵本や、おもちゃを配置している。	絵本やおもちゃで遊ぶ空間、リハの空間を しっかり区別されてて過ごしやすくなって いると思う わからない1名、どちらともいえない1名	今後もスタッフ皆と協力しながら広い空間で リハビリができるよう、また児童が遊べる空 間作りを行っていきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に 合わせた生活空間の確保	広い窓があり採光時間が長く、ワンフロアーなのみんなで過ごす空間が確保でき、自発的に動ける児童、と困難な児童が同じ空間で楽しく活動できている		気持ち良い空間つくり、スペースの確保は 今後も継続していきます
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	年1回業務計画を作成し、月のミーティング において進捗状況確認と半期ごとに見直し、 改善に努めている。		今後も継続していく
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善 の実施	出来ていない		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回のミーティングにおいて研修を実施、 個人でも外部研修に参加されている		外部の研修にも参加していく
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上での 児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画の作成	半年に1回のモニタリングにより、その結果を 専門の職員とカンファレンスを行い計画書を 作成している	+ の 掛切を振躍し リップリの光体 + ゆ	今後も継続
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団 活動を適宜組み合わせた児童発達支援又 は放課後等デイサービス計画の作成	リハビリと、療育の分野で個別活動、集団活動となるよう活動計画を作成している	 ・本人の状況を把握し、リハビリの進め方や療育について目標に向けての関わり方を示してもらっている。 ・利用時の様子、歩行練習やお友達との関り時間を大切にして頂いている。 	今後も継続
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画における子どもの支援に必要な項 目の設定及び具体的な支援内容の記載	総合的支援より、目標を設定し職種別に支援内容を設定し作成している		今後も継続
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画に沿った適切な支援の実施	計画書の支援内容をボードに書き込み全ス タッフが共有できるよう実地している		今後も継続していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	ミーティングにおいてリハビリ、看護、療育の 分野で活動プログラムを立案している	・わからない2名	今後も継続していく
適切な支援の提供(続き)	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やか な支援	集団で参加できる遊びを取り入れている、長 期休暇の場合屋外散歩や、公園まで車で遠 出など実施している	・季節ごとの製作や、本人の体調に合わせて散歩に行ったり、お部屋でお友達と遊んだりしている ・運動面に変化をつけてもらっている・びつくりするような制作を作ってくるので面	今後も継続していく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の 実施	リハビリ、または季節に沿ったアクティビ ティーを取り入れている		今後も継続していきます
	8	支援開始前における職員間でその日の支援 内容や役割分担についての確認の徹底	ホワイトボードの活用や支援前のミーティングにより確認しています		
	9	支援終了後における職員間でその日行われ た支援の振り返りと気付いた点などの情報 の共有化	打ち合わせの時間を作り、カルテ記入などを 行いながら実施共有している		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底 や、支援の検証・改善の継続実施	毎回実施記録を記入し次回に繋げている		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達 支援計画又は放課後等デイサービス計画の 見直し	半年に1回の面談を行いケアカンファレンス を実施し計画書を作成している		

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者に よる障害児相談支援事業所のサービス担当 者会議へり参画	これから実施していく		実施していく
関係機関との連携	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	学校や療育園、訪問看護との連携は取れている。 緊急事態時連絡が取れるようカルテに記載 している		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	訪問看護との連携は取れている。 緊急事態時連絡が取れるようカルテに記載 している。協力医療機関との月1回のケア相 談・報告によりアドバイスをいただいている		月1回の協力医療機関の医師とのケア 相談は継続実施していく
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	これから実施していく		実施していく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	これから実施していく		実施していく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職種によって研修に参加している		今後も参加していく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども 園、幼稚園等との交流や、放課後等デイ サービスの場合の放課後児童クラブや児童 館との交流など、障害のない子どもと活動す る機会の提供	隣接している認定こども園との交流を今後検 討していきます	・どちらともいえない1名 ・いいえ6名 ・わからない6名	隣接している認定こども園との交流を今後検 討していきます
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	法人においては地域住民とのふれあいのお 祭りなどを開催しているが、コロナ以降予定 されていない		行事ができるようになったら検討する
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧 な説明	契約時に説明している		変更時は都度説明してい「きます
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画を示しながらの支援内容の丁寧な 説明	計画書お渡し時に説明している	計画書に沿って、保護者と意見を交わしながら時間をかけて丁寧に説明があった	今後も都度説明していきます
保	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対するペアレント・トレーニング等の 支援の実施	ペアレント・トレーニングではないが、送 迎時に保護者に対してフィードバックをし ながら、家庭での対応のアドバイスを やっている	・どちらともいえない2名 ・わからない2名 ・このための特別な時間があるわけではないが、 特性を踏まえてどうかかわっていくかの助言を頂 いている	今後も時間があるときは継続していきま す
護者への	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	共通理解をする上で連絡帳や送迎時におい てアドバイスをさせて頂いている	利用した日の様子等細かく伝えてもらっている。これからも子供の変化や生活面の変化などもその都度伝えるようにしている	今後も継続していく
説明責・	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や面談時、また訪問などにおいてアド バイスをさせて頂いている	面談はもちろん、相談しやすい環境であ る	今後も継続していきます
・連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	この1年開催できていない	・保護者同士の交流の場があれば参加したい・進路のことについて立ち話をしていたら場所を提供していただいた	今年は開催できていないが、今後開催 していくよう努力します
1/2	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情については児童発達支援管理責任者 が窓口となり対応していく、苦情が出た場合 はスタッフと共有する 契約時説明済み	・わからない7名 (苦情行ったことも聞いたこともないので)	苦情があれば迅速に対応させて いただきます
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮	送迎時や、連絡ノートを活用し、子どもの状況や家庭の状況など常に共有し理解できている		今後も連絡帳を活用し共有していく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや 保護者への発信	ホームページにて発信		今後SNSでの発信を検討している
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	カルテなどの個人情報が漏れないよう鍵付き書庫に保管、写真については保護者同意のもと顔が出ないよう注意を払う	・わからない1名	
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルの策定と、職員や保護 者への周知徹底	マニュアル作成しているが職員には周知できているが保護者への周知は出来ていない	 どちらともいえない1名 わからない4名 計画書に記載されています。感染症の場合はお手紙が配られ安心して利用できるようにさせてくれます 	保護者用のマニュアル策定し周知しま す

区	分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、 救出その他必要な訓練の実施	サービス提供時間外に年2回、防火訓練、自 然災害を肯定し手の訓練を実施	・わからない11名 ・訓練されていると思うが頻度がわから ない	実地しているが周知できていない、今後 は連絡帳や通信等にて事前に報告しま す
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保 等の適切な対応	年2回の動画を含めた児童虐待防止研修を 実施		都度話し合い研修も継続していきます
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	重症心身障碍児の施設では危険性が多く、 保護者様より説明を受け理解し、こちらから の説明もさせて頂いているが、計画書への 記載はしていない。3か月に1回の委員会を 開催し、課題を出し合い改善策考え周知して いる		今後必要な場合は計画書に記載していきます
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師 の指示書に基づく適切な対応	食事は長期休暇のみ提供、事前に家族様へ 対しアレルギーの有無を確認し提供 おやつの提供無、ご家族様の持たせたおや つのみである		アレルギーのある児童に対して必要な 場合は医師に相談していきます
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内で の共有の徹底	ヒヤリハットが起こった際にはヒヤリハットの 報告書を作成し、職員間で共有している		今後も継続していきます